

令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

新しい価値と可能性を追究する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる

【学校 目標】

○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善の推進
 ~学び合いスタイルの授業を通して、安心して自分の思いを伝え合い、考えを練り合いながら、高め合える授業づくりを推進する~

【現状と課題】

- 視点1 グループ学習等の学習スタイルによる授業を再構築しつつあるが、教科の本質に迫るような深い学びの実現が課題である。
- 視点2 学び合いスタイルによる授業の定着により、聴き合い寄り添い合える集団が育ってきている。一方で、誰もが安心して学べるようにするためのICTを活用した個に応じた指導の工夫が課題である。
- 視点3 OJT推進リーダーを中心に校内での研修が充実してきている。共通理解のもと、「もくもく掃除」や「聴く指導」の徹底を図る。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○校内研究を軸に、「読み解く力」の視点を踏まえ、子ども主体の話し合い活動を充実し、考えの寛容や深まりを実感できる授業づくりを追究する。	・「主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会」(市学校関係者評価2.6以上)		
	・児童質問紙「学級との友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思う。」の強い肯定的評価平均値の割合35%以上		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○校内研究で磨いてきた「学び合い」のスタイルを継承し、思いに寄り添い、良さを認め合える学習集団づくりの推進。	・「学校は、子どもの豊かな人間性を育む心の教育を常時実践するよう努力していますか。」(学校保護者アンケート 肯定的評価85%以上)		
	・「支持的風土を育てる学級学年集団づくりの実践」(市学校教育評価 教職員自己評価2.5以上)		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○OJT推進リーダーを核とし、各教員による研修会の実施を通じた、高め合う教師集団づくりの推進。	・教職員の指導力及び組織的な教育力の向上(学校教育評価 教職員自己評価2.0以上)		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

・視点1・2については、研究主任と学ぶ力向上推進リーダーを中心に取組を進める。夏休みの研修会で一学期の成果と課題を共有し、評価指標に照らしながら適切に方向性を修正しつつ目標の達成に向けた実践を積み重ねる。また、全国学力・学習状況調査の分析結果を共有し、課題をより明確にすることで効果的な実践へとつないでいく。

・視点3については、生徒指導主任・研究主任・OJT推進リーダーが連携し取組を進める。教室掲示や校内放送等による徹底指導を行ったり、学校だよりやホームページで保護者や地域へ発信したりするなど、多角的な方策を用いて、共通実践を図り、評価指標の達成を目指す。

今年度の取組の成果と課題

--